

学校支援本部ってなんだろう新聞

第二号

平成24年11月30日発行

発行：杉並区学校支援本部運営委員会「制度周知・育成部会」

(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 TEL 3312 - 2111(内)1643 Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって
この新聞は、本部関係者のほか、教職員、PTAを対象に発行していきます。増刷は大歓迎です。
また、お読みいただいた皆様から寄せられる声をエネルギーとして、年三回発行していきます。ちょっとイイ話、困ったこと、提案など、どしどしお寄せください。

「学校支援本部全校設置」は、杉並の教育の“強み”です！

学校から...全国の自治体の中で、全ての小中学校に学校支援本部が組織されているのは杉並区だけです。今の教育、学校だけで完結するものではありません。地域の宝である子どもたちの健やかな成長に、未来の地域市民と成りうる児童生徒にとって、学校支援本部は欠くことのできない組織となっています。限られた授業時数の中での教育活動を、充実、補完してくれる多くの支援、取り組みに感謝しています。次世代を生きるプログラムは、もしかすると学校支援本部から発信されるのではないのでしょうか。今後も各支援本部の取り組みを参考に、地域に、各校にあったより良い取り組みを模索していきましょう。

(杉並区立和田小学校・福田校長)

保護者から...昨今の子どもたちは親と先生以外の大人と接する時間が極端に減ってきており、地域の大人が学校に入ってきて子どもの教育に関わってくれること自体が貴重な時間になっています。支援本部の皆さんが授業のサポートに入ってくれていただくことにより、学校の授業の幅も広がってきているし、授業以外のさまざまなイベントにおいても支援本部の活躍により子どもたちは多くを学ぶ機会を得ているように思います。(杉並区立小学校PTA 連合協議会・板谷会長)

学校支援本部だからできること
本部の活動に期待すること

地域から...学校支援本部はその言葉通り「学校運営への支援」ですが、学校運営にとって地域との連携は非常に大切なことです。しかし校長はじめ教職員はそれぞれの地域から通われ、また数年で入れ替わりがあり、なかなかその地域に深く係わることができません。支援本部はそのような現状の学校と地域の橋渡しもひとつの役目だと考えます。学校周辺の様子、地域を支えている人たち、地域団体・行事などを学校に伝え、地域へも学校行事等を発信し相互認識を高め、教職員にも地域行事への参加を促し、学校行事に地域の協力を求める。学校と地域が「顔の見える関係」になるようなきっかけ作りも支援本部だからこそできると思います。

(おやじネットワーク杉並・松崎代表)

【学校支援本部運営委員会】

教育委員会事務局では、本部関係者のほか、小中学校の保護者や校長、児童福祉関係職員等をメンバーとして、運営委員会を設置しています。家庭・地域・学校が協力して取り組む学校支援本部や放課後子ども教室の課題や方向性について議論しています。年三回の会議のほか、「制度周知・育成部会」と「検証・助言部会(裏面参照)」を設置して、活動しています。

検証・助言部会から

平成24年6月6日、部会が開かれ、23年度の各本部の取り組みを見渡しながらか話し合いました。その中から、いくつかご紹介します。活かせるところからぜひ各本部の取り組みに反映してみてください。

メッセージ1：「他団体との共催行事等があっても良いが、学校支援本部にしかできないこと(教育課程内)に、もっと積極的にかかわる」

メッセージ2：「学校支援本部の存在意義(何のために設置されているのか)を常に意識して活動する」

メッセージ3：「検定のような事業は、学校とよく教育目標を確認しながら、プライバシーへの配慮やお金の扱いなどに注意して取り組んでいく」

地域コーディネーター研修 開催中!

地域コーディネーター研修会は、区全体で161名の参加を得て開催中です。学校教育課程内での取り組みに力を発揮していただけるような内容になっています。参加している方々からいただいたコメントをいくつかご紹介します。



今まで活動してきた自分の課題が、研修に参加している方々の取り組みや情報を交換することにより大きな視野で考えられるようになった。この研修では何かを修得することより各地域とのネットワークづくりに思えます(40代男性)。

参加してみれば、知った面々。そんな中、新しい顔にも出会って、他校の事例を聞くことや情報交換は参考にもなり、活動のヒントを得られます。この先、行き詰った時、研修で一緒した顔を思い出し、ネットワークを広げ、授業をコーディネートできたらと思います(40代女性)。

中学校は、行事・部活・勉強など先生方も忙しく、お願いされたことだけをしていた。この研修に参加して、コーディネーターだからこそできる楽しい企画に積極的にかかわっている人たちに刺激されたので、今後の活動の参考にして、新しい企画を先生に提案してみたい(50代女性)。

学校支援本部ホームページの運用基準を定めました

杉並区が設置した「地域コム」を活用した本部のホームページづくりが徐々に広がっています。共通の運用基準を定め、今後さらなる情報発信が予定されていますので、ご期待ください。

学校支援本部キーワード 「キャリア教育支援」

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。

キャリア発達とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」のことです。それを踏まえての支援活動とは地域社会が持つ教育資源と学校を効果的に結びつけること、学校や児童、生徒の現状を理解し、多様な能力を活用する「場」を提供することにあります。(NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク・生重理事長)